

2018年度

「新しい東北」官民連携推進協議会

活動報告

2019年2月28日

協議会及び分科会の構成

「新しい東北」官民連携推進協議会（平成25年12月17日設立）

- 民間企業・大学・NPO等各種団体・地方自治体から構成（1,315団体（平成31年2月21日現在））。
- 官民の様々な主体の間で連携を生み出し、復興を契機とした新たな挑戦を促進。
具体的には、ウェブサイトや会員交流会の場で、各主体に関する情報（課題、ノウハウ、リソース）の共有や連携を促進。

各種課題に対応するため、協議会の下に3分科会を設置し、内容拡充

地域づくりネットワーク

（平成27年2月設立）

- 被災地の地方自治体から構成（71団体）。
- 「被災地内外との緩やかなつながりの構築」「地域をけん引するリーダーの育成」「オープンイノベーション手法の普及」などを図り、取組の自走化を目指すため、「地域づくりハンズオン支援事業」を行い、地域課題の解決に取り組む自治体、NPOなどに対して各種取組やニーズに応じたきめ細かな伴走型の支援を実施。

復興金融ネットワーク

（平成26年7月設立）

- 金融機関等から構成（35団体）。
- 官主導の取組による復旧から、民主導の取組による本格的な復興への橋渡しを行うため、金融機関等に対し、産業復興に関する情報の提供等を実施。
- 被災地の事業者に対して資金供給を呼び込むため、平成26年度から「新しい東北」復興ビジネスコンテストを開催。優良な取組を発掘するとともに、事業化や事業の発展に向けた効果的な支援を実施。

企業連携グループ

（平成27年4月設立）

- 企業復興支援ネットワーク、専門家派遣集中支援事業、販路開拓支援チームなどの機能を集約して提供。
- 民間企業と被災自治体、被災地企業と外部企業などが連携して展開する事業への支援および事例集作成やフェイスブックによる情報発信等を実施。
- 水産加工業の販路開拓に関しては、水産加工業の現状や課題について幅広く情報交換するため、沿岸部の市町村の担当者が集まり、「水産加工業に関する意見交換会」を開催。

地域づくりネットワーク

- 地域課題の解決に取り組む自治体、NPOなどに対し、伴走型の「地域づくりハンズオン支援事業」を実施。
- これにより被災地内外との緩やかなつながりの構築や、地域をけん引するリーダーの育成、オープンイノベーション手法の普及などを図り、課題解決に向けた取組の自走化を目指す。
- 平成30年度は、「三人四脚」でともに歩む「専門家派遣型」とアイデアを集めかたちにする「共創イベント型」を提供。

専門家派遣型

専門家等の派遣による各団体（プロジェクト）の成熟度やニーズに応じたきめ細かな支援を実施

団体名	プロジェクト名
一般社団法人雄勝花物語 (宮城県石巻市)	雄勝花物語による低平地地活用 及び交流人口拡大プロジェクト
気仙沼まち大学運営協議会 (宮城県気仙沼市)	まちを良くする それぞれの一步を 応援する「気仙沼まち大学 構想推進プロジェクト」
野蒜まちづくり協議会 (宮城県東松島市)	ふるさと野蒜の未来をつくる！ 安心あったかプロジェクト
一般社団法人 日本カーシェアリング協会 (宮城県石巻市)	コミュニティ・カーシェアリング のプログラム化

- 交流会型研修
支援対象団体等、地域の担い手の育成や、地域課題解決に向けた取組の促進、相互のネットワークの構築に資するよう研修を実施

共創イベント型

様々な立場の者が参加するアイデアソン等の「オープンイノベーション」の手法を用いた支援を実施

団体名	プロジェクト名
宮古観光創生研究会 (岩手県宮古市)	観光の担い手の創造と連携で 三陸の暮らしを誇りに
特定非営利活動法人 移動支援Rera (宮城県石巻市)	安心して生き抜く地域をつくる ための公共の再構築プロジェクト
小町温泉組合 (福島県田村郡小野町)	福島県の中山間地域活性化のモデル をめざす「大地の泉」復活・創生 プロジェクト
大堀相馬焼 松永窯 (福島県広域)	オープンイノベーションを活用した 新しい概念の産地・仕組みづくり

- ファシリテーター育成研修
支援対象団体等、地域の担い手自らが、アイデアの創出・活用やつながりの構築を継続的に
行えるよう研修を実施



復興金融ネットワーク

○民間企業の協賛・協力による「『新しい東北』復興ビジネスコンテスト」を実施。大賞1件のほか、優秀賞4件、協賛企業による企業賞13件を表彰。

「新しい東北」復興ビジネスコンテスト2018表彰式
(平成30年11月22日(木) 大手町フィナンシャルシティカンファレンスセンター)

- 表彰
- 受賞者代表による取組紹介
- 記念撮影
- 受賞者スピーチ
- ミニブース展示



○復興金融ネットワークメンバーによる活動は以下の通り。

取組内容	概要	
復興金融ネットワーク 全体会合	平成30年10月4日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ● 復興金融ネットワークの昨年度の活動及び今年度の活動について ● 復興の現状・取組について ● 事業承継・販路開拓に関する先行事例の紹介
	平成31年2月17日(日)	<ul style="list-style-type: none"> ● ビジネスコンテストの結果について ● 分科会とりまとめの発表 ● 復興金融ネットワークメンバーの取組 ● 復興庁の取組紹介
復興金融ネットワーク 分科会	<ul style="list-style-type: none"> ● メンバー同士の闊達な意見交換を目的に「販路開拓」「事業承継」「福島の復興」の3分科会を設置、メンバーを募集 ● 平成30年12月～平成31年1月にかけて、上記テーマの課題や取組の方向性の議論を2回実施 	
取組事例収集	<ul style="list-style-type: none"> ● 復興金融ネットワークメンバーの復興に関する活動を把握、可視化、活動成果を積極的に情報発信することを目的 ● 収集事例は復興金融ネットワークホームページ上で順次公開予定 	

企業連携グループ

地域復興マッチング「結の場」

○ワークショップを開催し、大手企業と被災地域企業との対話の場を提供。(全3回)

平成30年10月31日 宮城県塩竈市 平成30年11月14日 岩手県大槌町

平成30年11月28日 福島県標葉地区(※) ※大熊町・双葉町・浪江町・葛尾村



ワークショップの様子

被災地域企業新事業ハンズオン支援事業

○被災地域における新産業の創出につながる新たな事業へのハンズオン支援

〈個別支援〉4件 〈グループ支援〉5件(山田町、釜石市、東松島市、いわき市、福島市) (平成30年度実績)



被災地産品の販路拡大支援

専門家派遣集中支援事業

○豊富な経験・ノウハウを持つ専門家を派遣し、被災地域における新たな事業等を支援

52件支援実施 (平成30年度実績)



事例集作成による情報発信

○被災地の事業者らによる産業復興に向けた新たな挑戦や課題の克服の取組を取材し

事例集編纂を行い、被災地内外で共有し今後の事業創出や復興の加速化へ 30事例掲載

平成30年度版事例集
「想いを受け継ぐ 次代の萌芽」



水産加工業の販路開拓支援(販路開拓支援チーム)

○被災地の水産加工業の販路開拓等のため、被災地の複数の水産加工業者等が地域と連携して先進的な取組を行う「チーム化による水産加工業等再生モデル事業」を実施(H30年度事業数:10件)。

○水産加工業の現状や課題について幅広く情報交換するため、沿岸部の市町村の担当者が集まり、「水産加工業に関する意見交換会」を開催(平成31年2月6日(釜石市)、7日(仙台市))。

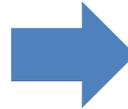


水産加工業に関する意見交換会
(平成31年2月7日 仙台市)

Fw:東北Weekly

- 「新しい東北」官民連携推進協議会の連携づくりを通じ、首都圏を含めた「新しい東北」の創造に関心がある方の交流、情報発信の強化を目指し「Fw:東北Weekly」を企画・実施。
- 東北で活動している方の様々な取組の成果や課題の共有、地域課題解決にむけた「場の設計/提供」を実施。
- 平成30年度は、5月からトータル30回実施（平成31年2月時点）。

- 1 : NPO、企業、自治体等から情報発信力の強化等を通じて課題解決したいテーマを企画。
- 2 : 週次イベントを都内を中心に各地で毎週開催。
- 3 : SNS等を活用し、事業の運営、成果等を内外に情報発信。



- 参加者の中で多種の役割・機能を持つ者が互いにつながりあいをもつ。
- 継続して事業を自走するために参加者が自分事として考え、必要な人脈形成、連携・パートナーづくりを自ら行う。

【実施例】



■ 2019年 1月 17日(木)18:30~20:30 (開場 18:00)
Fw:東北 Weekly [vol.27] 震災から8年、被災地コミュニティの新たな課題 ~災害公営住宅の現状と課題からコミュニティ作りのアイデアを考えよう~

開催場所 : SENQ霞ヶ関

WEBサイトやSNSでの告知



チラシ等作成



イベント実施後もレポートや報告動画の発信

●平成30年度「新しい東北」復興・創生顕彰

概要

- 平成28年度から「新しい東北」の創造に向けた取組について大きな貢献をされている方を顕彰する「新しい東北」復興・創生顕彰を実施。
- 平成30年度「新しい東北」復興・創生顕彰では、全国から寄せられた計132件の取組の中から、外部有識者による選定委員会を経て10件を選定。
- また、平成29年度受賞者の取組についてフォローアップを行い、「新しい東北」ポータルサイト上に記事を掲載するとともに、事例集を作成。

<平成30年度募集結果（平成30年10月1日～10月31日公募）>
・応募件数 132件

<選定結果>

一般社団法人三陸ひとつなぎ自然学校（岩手県釜石市）

岩手県立宮古工業高等学校（岩手県宮古市）

NPO法人SET（岩手県陸前高田市）

一般社団法人ReRoots（宮城県仙台市）

NPO法人つながりデザインセンター・あすと長町（宮城県仙台市）

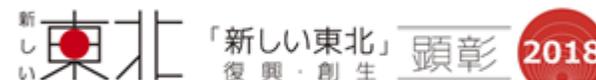
NPO法人TEDIC（宮城県石巻市）

南三陸ホテル観洋（宮城県南三陸町）

一般社団法人ふくしま逢瀬ワイナリー（福島県郡山市）

NPO法人Jin（福島県浪江町）

NPO法人ビーンズふくしま（福島県福島市）



● 平成30年度「新しい東北」交流会（平成31年2月17日（日））

概要

- 「東北の今を知ろう」をテーマとして宮城県仙台市で開催。地域の諸課題に向き合う自治体、企業、NPOの課題への向き合い方、取組の展望について発信。
- 「新しい東北」復興・創生顕彰および「企業による復興事業事例」の顕彰式を開催。
- 仙台駅西口2Fコンコースでは復興物産展も実施。復興庁が支援している企業の成果物などを紹介するとともに、展示販売。

メイン会場：TKPガーデンシティPREMIUM仙台西口8F

● 東北で活躍する企業・NPOなどの活動紹介

- ・平成30年度「新しい東北」復興・創生顕彰、企業による復興事業事例の顕彰式典
- ・「新しい東北」復興・創生顕彰、企業による復興事業事例、「新しい東北」復興ビジネスコンテスト受賞者による活動紹介
- ・シンポジウム 被災地を盛り上げるクラウドファンディング
- ・「みる・まなぶ・あじわう！」ブース展示

● “子ども喜ぶ”東北体験イベント

- ・南三陸杉で作るスプーン、フォークづくり講座
- ・南三陸の木のおもちゃで子供と遊ぶ
- ・東北の文化を体験しよう！ わら細工体験
- ・食育について知ろう！ 味噌玉と玄米おにぎりづくり

● 被災地で地域づくりに取り組まれている方々の活動紹介

- ・大堀相馬焼 浪江町の土で8年ぶりの作陶結果とロードマップ発表会
- ・高校のない小さな町を「人生の学校」に変えていく
- ・おでかけソーンから広がる、地域の楽しい移動
- ・石巻発！東京ローカルと共創する食品マーケティング-石巻うまいもの株式会社-
- ・地域づくりサミット

等

AER 2Fアトリウム

● 復興へ「今」までの歩み写真展

仙台駅西口2Fコンコース

● 「今」を味わう復興物産展

顕彰式の様子



● 3県での意見交換会の開催

岩手県

1. 活動記録

● 第1回（6/7（木））

- 意見交換会の趣旨等説明
- 平成29年度活動振り返り
- 平成30年度方向性
- 平成30年度テーマ案等について意見交換を実施

● 第2回（9/3（月））

- 今年度の方向性
- 岩手県におけるFw:東北Weekly特別編の内容等について意見交換を実施

● 第3回（3/8（金））予定

- Fw:東北Weekly特別編の実施振り返り
- 来年度意見交換会の方向等について意見交換を実施

2. 実施企画の議論

前年度の関係人口に関する調査事業で得られた論点から議論を開始。関係人口をテーマとして、意見交換会に参画する団体で協力しあいながら、沿岸部でイベントを開催することとした。岩手県の協力により、いわて三陸復興フォーラム内のプログラムとして、宮古市で次のイベントを実施した。

3. Fw:東北Weekly特別編『関係人口×○○で考える三陸の未来』

～復興を通じて生まれた関わりあいを深めるには～（12/17）の実施概要

震災後、岩手に訪れた多数の人々との関わりを「関係人口」と捉え、地域を離れた後も関係性を保つことが地域の支えとなる。様々な大型イベントが控える中で、そうした関係人口という考え方を手段として様々な切り口を掛け合わせることで、繋がりを生み出す仕掛けづくりについて考える機会とした。

※12/16（日）・17（月）に開催された「いわて三陸復興フォーラム（主催：岩手県）」における「沿岸報告会」のプログラムの一部として併催。

- 場所：イーストピアみやこ 多目的ホール
- 参加者：49名



● 3県での意見交換会の開催

宮城県

1. 活動記録

● 第1回（6/7（木））

- 意見交換会の趣旨等説明
- 平成29年度活動振り返り
- 平成30年度方向性
- 平成30年度テーマ案等について意見交換を実施

● 第2回（9/12（水））

- 今年度の方向性
- 宮城県におけるFw:東北Weekly特別編の内容等について意見交換を実施

● 第3回（3/18（月））予定

- Fw:東北Weekly特別編の実施振り返り
- 来年度意見交換会の方向等について意見交換を実施

2. 実施企画の議論

前年度の「New TOHOKU Pitch Vol.0」の開催を受け、今年度もセクターを超えた課題や取り組みの共有ができる交流機会の創出を継続することとし、沿岸部でのイベント開催を検討。南三陸町の協力も得て、同町での企画実施となった。地域の人々がより確実につながるために、フューチャーセッションの手法によるワークを実施。

3. Fw:東北Weekly特別編『南三陸をつなげる30人』

～個々の活動の可視化による町のブランド化と担い手育成～（2/5）の実施概要

社会課題と地域のマトリクスでセクター間の連携を可視化し、表現できるような状況を生み出すことをめざし、南三陸の地元事業者を集め、フューチャーセッションを開催。

● 場所：南三陸町役場エントランス「マチドマ」（協力：南三陸町）

● 参加者：31名

[震災後、レジリエントな地域づくりの活動に取り組んできた地元企業家・活動家] 17名

[上記の企業家・活動家のテーマを支援できる可能性のある大手企業] 8名

[その他]6名



● 3県での意見交換会の開催

福島県

1. 活動記録

● 第1回（5/30（水））

- 意見交換会の趣旨等説明
- 平成30年度の活動の方向性等について意見交換を実施

● 第2回（8/28（火））

- 今年度の方向性
- 福島県におけるFw:東北Weekly特別編の内容等について意見交換を実施

● 第3回（1/30（水））

- Fw:東北Weekly特別編の実施振り返り
- 来年度の意見交換会の方向性等について意見交換を実施

2. 実施企画の議論

県内地場の産業活性として日本酒と伝統工芸のコラボを考える場を作った昨年度の流れを引き継ぎ、地場での担い手のあり方やその確保について議論を行い、若者が県内で働き、暮らしていくためのロールモデルを示す場を作ることとした。

3. Fw:東北Weekly特別編ふくしまキャリア探求ゼミ （12/2）の実施概要

福島県にU・Iターンをし、先駆的なチャレンジを行っている6名のゲストと参加者の交流を通して、参加者が県内での活動のイメージをもつことを目的に実施。

●ゲスト

- 高野哲也 氏（株式会社道の駅ひらた 駅長）【50代】【Iターン】【小売業】
- 榊裕美 氏（NPO法人ワンダーグラウンド）【20代】【Iターン】【漁業】
- 進士徹 氏（NPO法人あぶくまエヌエスネット 理事長）【60代】【Iターン】【自然体験】
- 西本浩幸 氏（株式会社デザイニウム 取締役／ディレクター）【30代】【Iターン】【IT】
- 古崎泰介 氏（田村夏井新聞店 代表）【30代】【Iターン】【まちづくり】
- 古山浩司 氏（古山果樹園5代目）【40代】【Uターン】【農業】

- 参加者：31名



● 民間等の関係者との連携強化

連携支援制度

- 協議会の会員が他団体と連携し、新たな取組を実施することを支援する制度（平成27年8月創設）
- 協議会活動の一環として、会員が他団体と連携して取組むワークショップ等の開催経費の一部（1件につき上限20万円）を支給するとともに、当協議会ウェブサイト等を通じた周知広報の支援等を行うことで、当協議会会員の連携の推進を図る。

■これまでの支援実績（平成30年度支援採択19件（平成31年1月時点））

	団体名	事業名
1	特定非営利活動法人災害支援団体ネットワーク	セラビードッグ活動2018
2	石巻産業創造株式会社	水産加工業セミナー
3	一般社団法人RCF	ソーシャルドレス in檜葉町〜ここ(存在)からの始まり〜
4	特定非営利活動法人 いしのまきNPOセンター	被災地NPOのための「セールスフォース」講座
5	株式会社東邦銀行	「沖縄大交易会2018」へのPRブース出展・「ふくしまの酒」の販路拡大
6	特定非営利活動法人 姫路発 中高生のための東日本災害ボランティア	神戸ハーバーランドにて、中高生たちが福島県の魅力を堂々発信する！
7	株式会社新福島産業創生プロデュース	第27回WS【会津若松市「スマートシティ構想」視察・情報交換会】
8	一般社団法人SAVE IWATE	東日本大震災の経験を伝え次に備える連携モデルの構築1
9	いわてNPO災害支援ネットワーク	東日本大震災の経験を伝え次に備える連携モデルの構築2
10	公立大学法人岩手県立大学	ビッグデータを活用した関係人口拡大プロジェクト都市研究ワークショップ
11	クリエイティブ・あいち	南海トラフ大地震に備える防災・減災シンポジウム
12	東北銀行	販路開拓支援
13	一般社団法人RCF	第2回 ソーシャルドレス in檜葉町〜ここ(存在)からの始まり〜
14	公益財団法人オイスカ	東日本大震災復興支援海岸林再生プロジェクト報告会inさいたま
15	一般社団法人RCF	フィッシャーメンズ・リーグ食育プロジェクト2018
16	宮城県多賀城高等学校	日本の服飾文化とリユースの実践
17	NPO法人 結ぶ	第8回あったか復興支援 「わすれない3、11」 ～応援しよう都筑から～
18	有限会社 耕佑	ビューティーフード&サイクルツアー
19	有限会社秀吉	首都圏シェフによる一次産業産地訪問ワークショップ

■支援例

三陸の漁師が伝授！藻塩（もしお）づくりが体験できる親子向け食育イベントを開催（一般社団法人 RCF）

フィッシャーメンズ・リーグが取り組む「フィッシャーメンズ・リーグ食育プロジェクト 2018」では、三陸の漁師が教える藻塩づくりを体験できる親子向けの食育イベントを2018年11月24日（土）に開催。

開催概要：

一般社団法人 RCFは、東日本大震災を機に、岩手県や宮城県の水産業で働く人たちを中心にフィッシャーメンズ・リーグを結成し、三陸のプロモーションや魚食文化を促進する食育活動を実施した。当日は、講師として三陸・塩釜からフィッシャーメンズ・リーグ所属の海藻漁師である赤間俊介氏と、同所属の三陸・石巻の水産加工業の社長である平塚 隆一郎氏が駆けつけて、藻塩づくりを紹介。

親子で作って、学んで、食べて、三陸と福島の食の魅力に触れることのできるイベントとなった。

● 民間等の関係者との連携強化

連携セミナー制度

- 協議会会員等の連携促進等を目的として、協議会の会員が復興庁による講演やブース出展等を含む「新しい東北」に関連した公開型のセミナー又はイベント等を開催する場合に、その開催にかかる経費の一部（1件につき上限50万円）や参加者の募集等について支援する制度（平成28年5月創設）
- 一般の方々が広く参加でき、参加者間の連携促進・交流を目的としたイベントであることが要件であり、この点が、連携支援制度と異なる。

■これまでの支援実績（平成30年度支援採択19件（平成31年1月時点））

	団体名	事業名
1	一般社団法人カーシェアリング協会	第2回『コミュニティ・カーシェアリング』シンポジウムin石巻
2	公益社団法人 日本建築家協会東北支部宮城地域会	震災復興シンポジウム「みやぎボイス2018」の開催
3	一般社団法人ワカツク	いぐするテラス特別編「地域を旅する大学をつくる」
4	学校法人昌平関東日本国際大学	第三回福島・チェルノブイリ・スリーマイルアイランド国際シンポジウム
5	石巻産業創造株式会社	第1回創業塾フォローアップセミナー
6	石巻産業創造株式会社	第2回創業塾フォローアップセミナー
7	貴凜庁株式会社	防災の日ワークショップ
8	公益財団法人みやぎ・環境とくらし・ネットワーク	東北の自然エネルギーをもっと知ろう！～自然エネルギー活用セミナー！
9	摂南大学経済学部	食べる！遊ぶ！復興支援する!! 気仙沼出張屋台村@南京町広場
10	株式会社日本医療企画	地域医療の未来創造会議 in 東北～患者視点から考える医療経営セミナー～
11	株式会社新福島産業創生プロデュース	第28回WS「福島の復興は新たな産業創生から」をテーマとしたフォーラム
12	特定非営利活動法人ウィメンズアイ	東北の若手女性起業家・社会事業家ネットワーク
13	八幡平市商工会議所	「新しい東北 まちを豊かにするヒントを学ぶ」地域振興と商品・サービスの開発
14	株式会社アグリガーデンスクール&アカデミー	大船渡・朝倉のコラボレーションによる食やまちのブランド向上
15	MICHIKARA官民協働フォーラム実行委員会	MICHIKARA官民協働フォーラム
16	特定非営利活動法人みらい東北	東北の復興における人材・少子高齢化の課題解決に関するシンポジウム
17	貴凜庁株式会社	防災の日ワークショップ
18	有限会社耕佑	ビューティーフード勉強会～地産地消とビューティーフードを通して栗原の食の未来を考える～
19	東北・夢の桜街道推進協議会	東北復興支援シンポジウム～桜が紡ぐ東北の未来～

■支援例

こども未来創造校「KIBOTCHA(キボッチャ)」
9月1日防災の日にワークショップを開催
(貴凜庁株式会社)

開催概要：

貴凜株式会社の運営する KIBOTCHA（所在地：宮城県東松島市）が、「災害から身を守る準備はできていますか？9月1日は家族で考える防災のこと」をテーマにしたワークショップを開催。

日清食品ホールディングス株式会社と共催で行う「備えて安心！チキンラーメンサバイバル術」をはじめ、NPO法人気象キャスターネットワークと共催の「お天気キャスター大集合！親子で学ぶお天気ぼうさい教室」、一般財団法人防災教育推進協会と共催の「体験型★防災学習！～模擬体験をしてみよう～」など多数のワークショップ実施した。

会員団体の構成

(1) 会員団体の属性

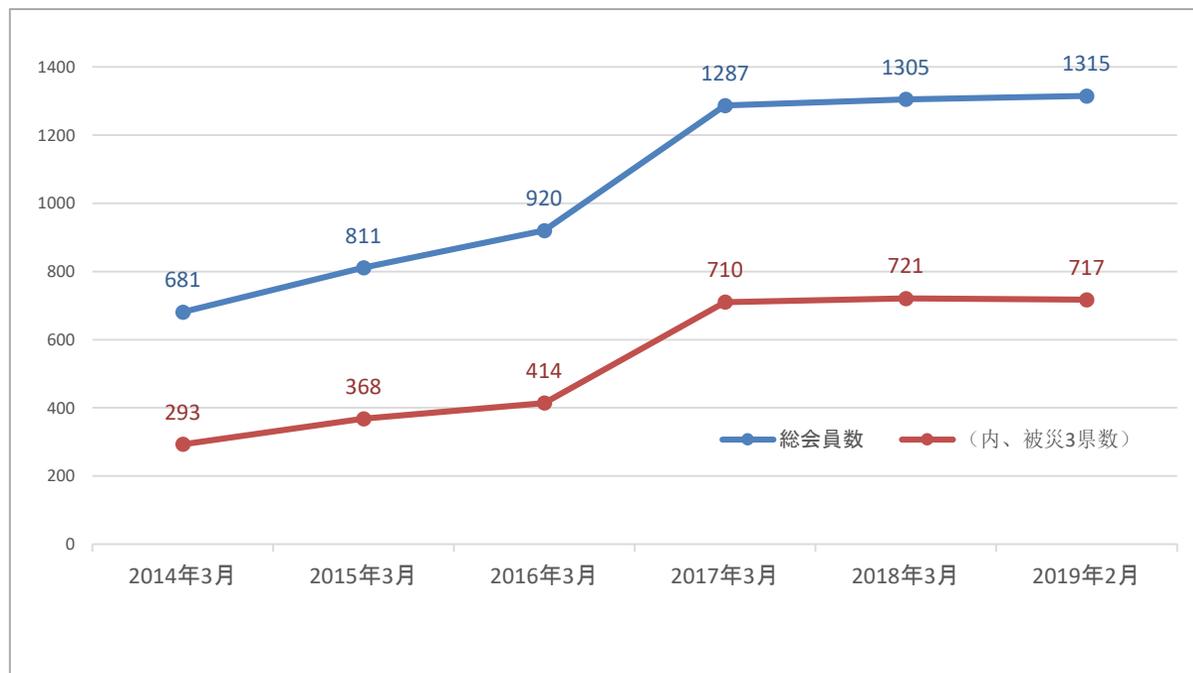
カテゴリ	団体数	割合
代表・副代表	21	2%
経済団体	85	6%
民間企業	416	32%
各種協同組合等	61	5%
NPO法人	48	4%
公益法人等	120	9%
独立行政法人等	20	2%
大学等	116	9%
先導モデル事業	233	18%
地方自治体等（都道府県）	37	3%
地方自治体等（市町村）	134	10%
府省庁	24	2%
合計	1315	100%

※平成31年2月21日時点

【被災3県内の団体の割合】

所在地（県）	団体数	割合
被災3県合計	717	55%
岩手県	133	10%
宮城県	336	26%
福島県	248	19%
被災3県以外	598	45%
合計	1315	100%

(2) 会員数の推移



※会員名簿を元に作成

- 総会員数は昨年度と比較して、ほぼ横ばい。
- 被災3県内の会員数が総会員数の過半数を占める。

● 協議会会員に対してのアンケート実施

協議会会員へのアンケート

期間：2018年11月～12月

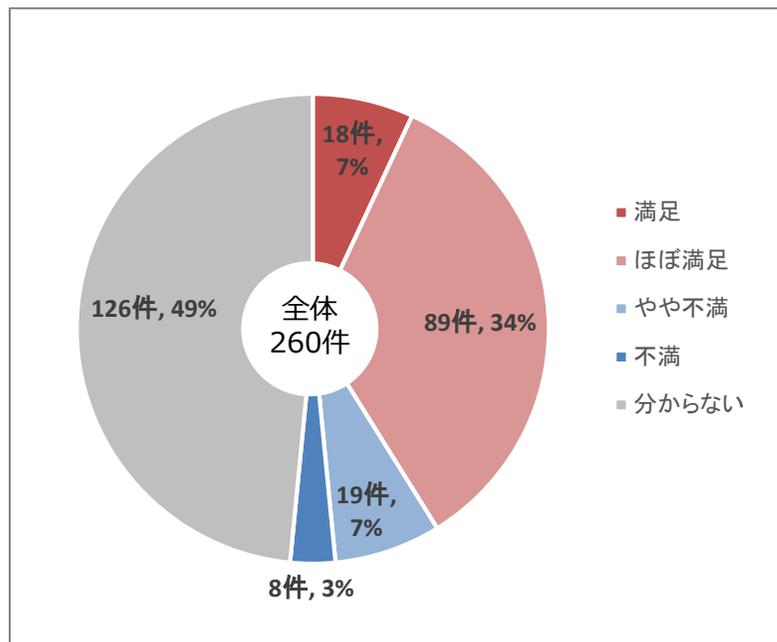
目的：「新しい東北」官民連携推進協議会運営についてのご要望を伺い、今後の活動に反映させる

対象：「新しい東北」官民連携推進協議会会員様 約1300団体

手法：メールにて協力のお願いを送付、インターネット上のフォームに回答、集計

結果：260件の回答を得る

■問6：協議会の活動について、感想を一つだけ選択ください



■問6-1 協議会の活動についての感想、回答いただいた理由（自由回答）

熱心に活動していただいていると認識しています。ただ、こちらの事情でなかなか利用できていません。（日々の業務に追われて、なかなか活動に参加できない）。いつも配信されるメルマガの情報はチェックしています。機会が合えば利用したいと思います。

岩手県ではあるが直接的な被害を受けていないため、どのように活用していいかわからない。

協議会の連携やこの協議会にどのようにアプローチして成果に結びつけていけばよいかなど、仕事の進捗がそのレベルまでいっていない。目先の仕事に追われて、このような機会を生かした業務の検討に至っていない。

自分の勉強不足もあるが上手く活用しきれてない点

販路開拓等他企業とのマッチング出来る部分が少ない、ほとんどない

きめ細かい活動をされていると思う。

協議会の活動を十分に把握していないため。

各種情報をタイムリーにご案内戴き、大変感謝しております。

セミナー等開催場所が遠方。

当庁において協議会の活動に合致する事業がなく、メリットを感じない。

利用経験が少ないため判断できないため。

（アンケートから抜粋）

ウェブサイトの活用

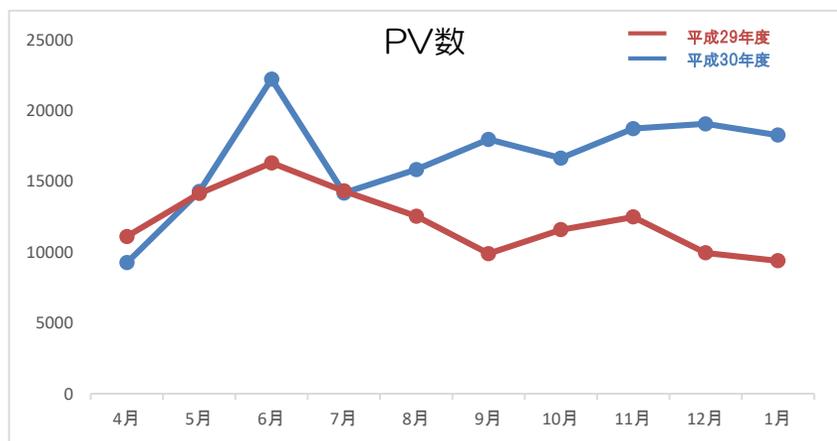
○ アクセス管理状況等からの活用状況

- ・2019年1月までのWEBサイトアクセス情報

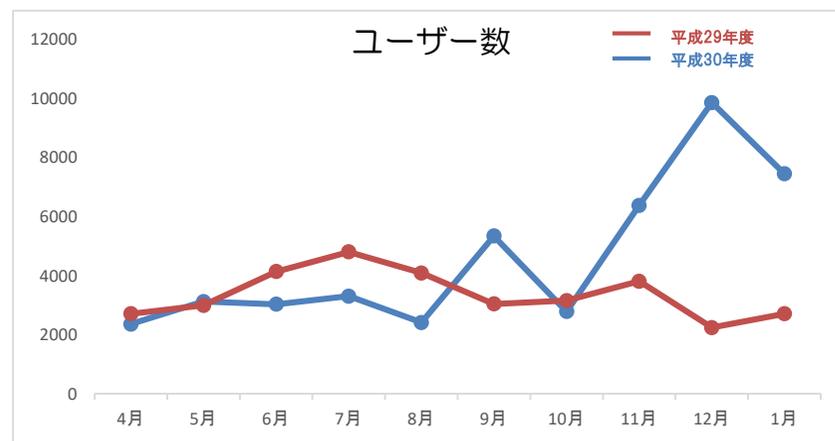
①月別アクセスサマリ

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
セッション	3,274	4,347	8,644	4,599	4,139	6,891	4,605	8,362	11,599	8,920
ユーザー数	2,120	3,125	3,034	3,308	2,411	5,346	2,784	6,382	9,866	7,458
PV数	9,257	14,266	22,216	14,167	15,824	17,955	16,630	18,716	19,057	18,265
PV/セッション	2.83	3.28	2.57	3.08	3.82	2.61	1.65	1.31	1.64	1.20
平均セッション時間	2:18	4:33	2:37	3:42	4:14	2:18	4:12	1:54	1:09	1:29
直帰率	63.9%	62.3%	62.8%	47.7%	49.3%	72.6%	47.5%	71.6%	83.3%	82.0%
新規ユーザー率	82.2%	82.9%	80.6%	79.2%	76.4%	88.1%	77.1%	85.8%	89.2%	89.2%

②月間アクセス状況の前年のとの比較



平成29年度 合計 143,924
平成30年度 合計 166,353 (1/31時点)



平成29年度 合計 40,276
平成30年度 合計 46,074 (1/31時点)

● ポータルサイトを通じた情報発信

ウェブサイトの改修

● 特設WEBページの構築

- ポータルサイトに来訪したユーザーをイベント情報/イベント参加に誘導するため、特設WEBページを用いて、効果的に情報を発信。
- スマートフォンによる閲覧を意識したレイアウトとし、広く一般に向けた認知を獲得。
- メールマガジンやSNSとも連動させ、情報の集約先を明確化。

● セキュリティ対策の強化

- URLを既存の「http」からセキュリティ度の高い「https」に変更しポータルサイト全体のURLを変更、それに伴い各リンク先のURLも変更。
- 全ページURLに「.html」を追記、WEBページアドレスをあるべき姿にすることで、不正アクセスの抑止としWEBサイト全体の評価を高める。

特設WEBページ



●ポータルサイトを通じた情報発信

認知の拡大① メールマガジンの発信

- 2018年7月4日より、協議会会員にむけてメールマガジンを配信開始。
復興庁主催イベントや協議会会員の活動を告知するメディアとして、毎週水曜日 約1300件にむけて配信。
- 2018年11月からは、各イベント参加者で希望者に対してもメールマガジンを配信。
2019年1月現在で合計約1650件への配信となる。
- メールマガジンからのポータルサイトへの流入は、定常的に 約8%を占める ※広告からの流入を除く

メールマガジンサンプル

SAMPLE

【新しい東北】官民連携推進協議会からのお知らせ(9/5)

「新しい東北」官民連携推進協議会 会員の皆様
大変お世話になっております。「新しい東北」協議会事務局です。
これから開催されるイベントや協議会活動をご案内いたします。

【INDEX】

1. 復興庁からのお知らせ (1件)
2. イベント案内 (4件)

●【復興庁からのお知らせ】

「Fw:東北 Weekly Vol.16」SDGsで導く南三陸の杜の未来
～国内初！ASC認証の杜の挑戦～
日時：2018年9月13日(木)19:00-21:00 (開場 18:30)
会場：風土はfoodから (東京都千代田区神田錦町3-15)
詳しくはこちら→
https://www.newtohoku.org/event/event20180904_03.html?utm_source=weeklymail&utm_medium=mail&utm_campaign=20180905

●【イベント案内】

「東日本大震災及び原発災害からの復旧・復興活動等支援基金」を活用した助成事業の2018年度成果発表会
主催：公益財団法人大阪コミュニティ財団
会場：大阪商工会議所ビル「ニューコクサイ」
日時：2018年9月14日(金)13:30～18:00
詳しくはこちら→
https://www.newtohoku.org/event/event20180829_02.html?utm_source=weeklymail&utm_medium=mail&utm_campaign=20180905

●【イベント案内】

手づくりマルシェ アキフェスInえきまえ2018
主催：手づくりマルシェ実行委員会
会場：福島駅東口駅前通り、街なか広場、街なか広場前通り
日時：2018年9月16日(日) 10:00～16:00
詳しくはこちら→
https://www.newtohoku.org/event/event20180916_01.html?utm_source=weeklymail&utm_medium=mail&utm_campaign=20180905

メールマガジンからポータルサイトへの流入 週次推移
2018年9月～2019年1月 (ユーザー数)



ポータルサイトでのメールマガジン登録案内

●ポータルサイトを通じた情報発信

認知の拡大② SNSでの情報配信

- Facebookを用いて各種イベント情報を発信、協議会会員だけでなく広く一般に対しても活動の認知向上を図る。閲覧状況や情報の拡散に対しては、月次で集計し効果を計測。
- Facebookでの投稿には、より認知効果が高まる動画を作成。情報拡散に対して成果を出している。

項目	2018年					2019年				
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
投稿数	6	6	10	11	10	14	18	7	5	8
リーチ数	19,959	12,553	6,176	14,414	23,011	23,474	26,512	9,573	42,352	10,202
投稿クリック数	918	1,105	529	1,243	1,424	681	1,335	632	562	522
コメント、シェア数	989	789	315	694	1,304	371	944	633	406	469

公開日時	投稿	タイプ	ターゲット設定	リーチ	エンゲージメント
2019/01/24 17:07	岩手県宮古市「シネマ・デ・アエル」のイベント	📎	🌐	108	2 6
2019/01/21 21:04	Fw.東北Weeklyで公演頂いた東北ルーツプロジェクト	📎	🌐	377	8 9
2019/01/20 16:34	【Fw.東北Weekly vol.26動画レポート】2018年12月	🎥	🌐	4.3K	162 183
2019/01/20 13:14	【イベントのご紹介】Fw.東北Weeklyに登壇頂いた	📎	🌐	744	27 25
2019/01/19 20:56	Fw.東北Weeklyでピックアップさせて頂いた南三陸	📎	🌐	974	29 28
2019/01/17 14:23	【Fw.東北Weekly特別編レポート】事務局の西嶋で	🎥	🌐	507	36 16
2019/01/16 4:02	Fw.東北が応援するシニアプログラミングネットワ	📎	🌐	486	14 6
2019/01/10 8:00	【ヒガマツ大学「ごほんを知らう！」レポート】	🎥	🌐	2.7K	244 196



Fw.東北 フォワード東北: 8/9 Fw.東北Weekly Vol.11レポート動画...
 【8/9 Fw.東北Weekly Vol.11レポート動画】8月は「夏休みは親子で東北に触れよう」をテーマに発信しています。先週は「専ら協議会事務局の広報の和カルミ文化」にスポットを当てました。洋カルミより、和カルミまで発信活動も思い切りおこなっています。



Fw.東北 フォワード東北: 【Fw.東北Weekly Vol.25レポート】...
 【Fw.東北Weekly Vol.25レポート】事務局の西嶋です。12月13日のMonthlyは「東北と台湾をつなげる動画」社台と台湾の事例から相互交流のこれからを描く「和カルミ」に特化した。ゲストに専ら協議会事務局の和カルミ事務局の和カルミと、専ら協議会事務局と...